

[別紙 2]

<ご参考>

セブン-イレブンおよびイトーヨーカドーの「CO<sub>2</sub>排出量削減」に関する  
これまでの取り組みについて（抜粋）

◆セブン-イレブン店舗への太陽光パネルの設置

➢8,653 店舗（2021 年 2 月末現在）の屋根に太陽光パネルを設置し店舗電力として活用

◆配送用 EV トラック、FC（燃料電池）小型トラックの試験導入

➢物流における CO<sub>2</sub>排出量削減に向け、環境配慮型の配送トラックを試験的に導入

◆“再エネ 100%”の店舗運営に関する実証実験、神奈川県内 10 店舗の取り組み（テスト）

➢2019 年 9 月に開始。電気自動車のバッテリーや高性能太陽光パネル等を活用し、  
再エネ 100%を実現

◆最新設備・CO<sub>2</sub>排出量 54%削減 省エネ店舗の実証実験 セブン-イレブン青梅新町店

➢2020 年 11 月開店。木造建築の導入、空調効率の改善や、創エネ・蓄エネを活用。

◆『アリオ市原』に大規模太陽光発電を導入

➢2020 年 7 月より導入。屋上部分に太陽光パネルを敷設し、『アリオ市原』全体の電力  
使用量の約 25 %を太陽光パネルによる発電で賄うことが可能になり、それに伴い  
CO<sub>2</sub>排出量も約 25%削減。



※神奈川県内 10 店舗での取り組み



※アリオ市原での取り組み

以上